



品番	配光タイプ	LED色	適合部品 (別売)
PA(H)81003UP/M/40	コンフォート ウォッシュ (中角レンズ仕様)	白色 4000K Ra83	適合埋込ボックス：PA(H)81005 (連結金具付 (補修部品品名：PA81006))
PA(H)81003UP/M/35		温白色3500K Ra83	
PA(H)81003UP/M/30		電球色3000K Ra83	
PA(H)81003UP/M/27		電球色2700K Ra83	
PA(H)81004UP/VW/40	ラグジュアリー アンビエンス (導光パネル仕様)	白色 4000K Ra83	
PA(H)81004UP/VW/35		温白色3500K Ra83	
PA(H)81004UP/VW/30		電球色3000K Ra83	
PA(H)81004UP/VW/27		電球色2700K Ra83	

※上記()内は加工品番です。(以降、加工品番の記載を省略します。)

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると、火災・感電の原因となります。
- 器具を改造しない。火災・感電の原因となります。
- 表示された電源電圧 (定格電圧±6%)・周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用すると、感電・火災の原因となります。
- この器具は一般屋内用器具です。雨水のかかる場所、湿気の多い場所、直射日光の当たる場所、振動の強い場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しない。
電源線、取付部からの水の滴下等の浸水がある場所でも使用できません。火災・感電の原因となります。
- 地中 (コンクリート、モルタル) 及びシステムフロア埋込専用器具です。土中及び壁面、天井面では使用しない。
器具落下及び破損の原因となります。
- 壁際の床面設置専用です。車輛の通行する場所や絶えず荷重がかかる場所、壁がなく単独設置となる場所には使用しない。器具破損による火災・感電の原因となります。
- 器具の上にダンボール類や紙、布類を被せない。不点及び器具寿命低下の原因となります。
- 必ず適合部品と合わせて使用する。火災・感電・不点の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁処理 (融着テーピング等) は、確実にこなう。感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続 (ねじり接続等) はしない。必ず専用工具で圧着すること。火災の原因となります。
- 電気設備技術基準にしたがい、D種 (第3種) 接地工事をする。接地が不完全な場合、感電・漏電の原因となります。
- 調光器は当社製適合調光器を使用する。
指定以外の調光器と組み合わせて使用すると、火災の原因となります。

⚠ 注意

- 周囲温度は、-10~35℃で使用してください。指定外の周囲温度で使用すると、火災や短寿命の原因となります。
- 器具に過度な力を加えないでください。器具破損による火災・感電・不点の原因となります。
- 床面と器具の枠が必ず平滑になるよう特に注意して施工処理をしてください。
枠表面が床面より出ている場合、転倒によるけがのおそれがあります。
- 器具の取付け取外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。

施工上のご注意

- 当社製適合調光器と組合わせて約3%~100%の調光ができます。

【適合調光器】

- ライトコントロール・信号線式 (LED・インバータ蛍光灯用) (H f 側で使用)
- 信号線式ライコン (H f タイプで使用)
- ライトマネージャーF x (H f 側で使用)
- ライトマネージャーF x (H f 側で使用) + 信号変換インターフェース・信号線式LED用
※36台以上接続する場合

- 調光器からの配線長は調光器の承認図や取扱説明書にしたがってください。

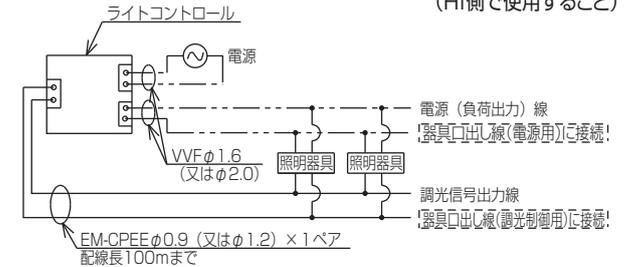
- 調光器と組合わせて使用した場合、下記のような状態がありますが異常ではありません。

- ・同一器具、又はシリーズ器具で点灯及び消灯時のフェードのしかたに違いが出る場合があります。
- ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりすることがあります。
- ・調光器と器具を同時に電源ON/OFFしたり、停電等で電源電圧が一時的に低下し復帰した場合、一旦、設定の調光状態より明るく点灯してから、設定の調光状態になることがあります。
- ・ライトマネージャーF x 及びライトマネージャーF x + 信号変換・信号線式LED用と組合わせて使用した場合、フェード時間を1秒より短い設定にしても、点灯消灯時に約1秒のフェードがかかります。

結線方法

接続の詳細は調光器の承認図や取扱説明書にしたがってください。

<結線例>ライトコントロール・信号線式(LED・インバータ蛍光灯用)の場合 (H f 側で使用すること)



注) 雑音障害をおこす場合がありますので、照明器具以外の機器を同一電源に接続しないでください。

各部のなまえと取付方法

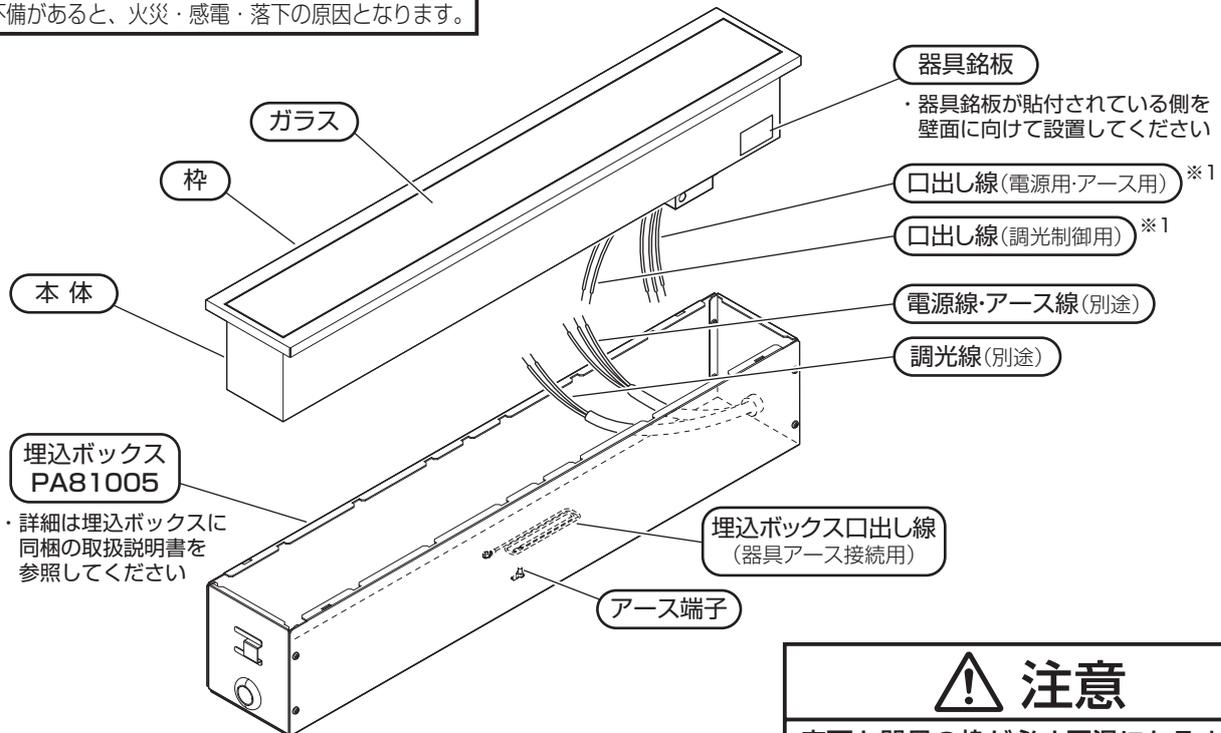


警告

施工は、施工説明書にしたがい、確実に行う。
施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

※1) 器具口出し線

電源用 (黒、白)	ポリエチレン絶縁電線	0.75mm ²
アース用 (緑)	ポリエチレン絶縁電線	1.25mm ²
調光制御用 (青2本)	ポリエチレン絶縁電線	0.75mm ²



注意

床面と器具の枠が必ず平滑になるよう特に注意して施工処理をしてください。
枠表面が床面より出ている場合、転倒によるけがのおそれがあります。

1 取付前の確認

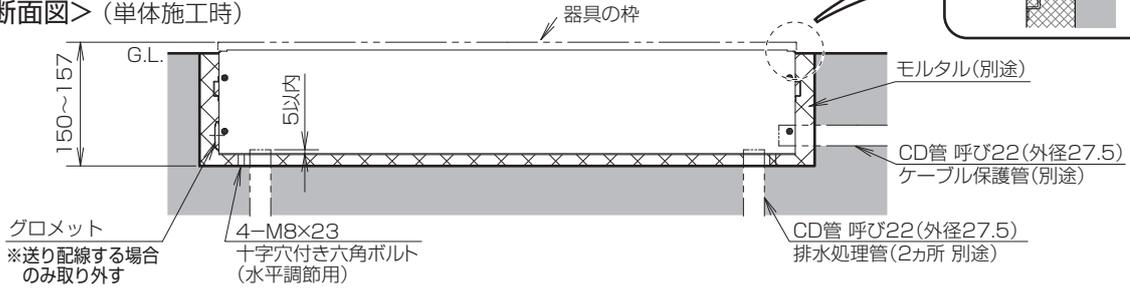
- ・使用条件に十分耐えるよう、施工部の強度を確保してください。
器具質量：約6.0kg
埋込ボックス質量：約3.8kg
不備があると、器具破損及び浸水による火災・感電・不点の原因となります。
- ・専用埋込ボックス PA81005 (別売) を設置する際は、必ず排水処理を行ってください。
不備があると、火災・感電・不点の原因となります。

各部のなまえと取付方法 (続き)

2 埋込ボックスを設置する

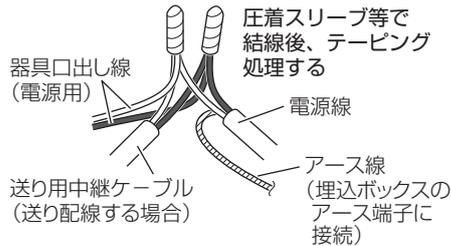
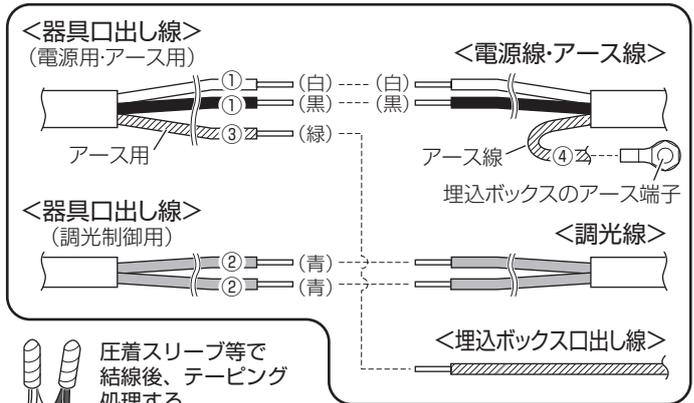
- 必ず専用埋込ボックス PA81005 (別売) を使用してください。
- 専用埋込ボックスに同梱の取扱説明書を参照し、専用埋込ボックスを設置してください。
- 不備があると、火災・感電・不点の原因となります。

<横断面図> (単体施工時)



3 電源線・調光線・アース線を接続する

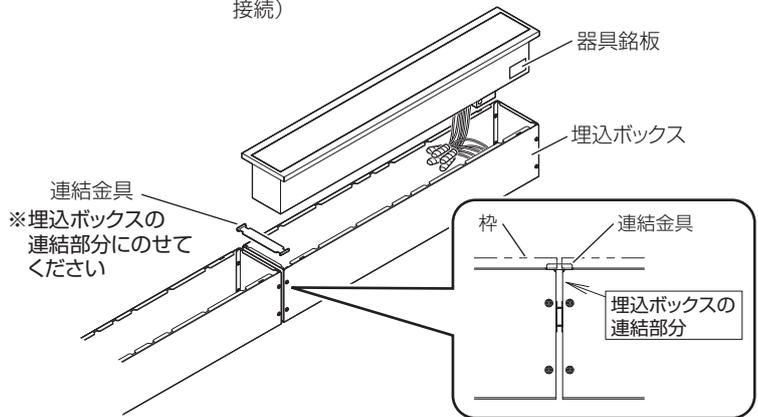
- 器具口出し線と、電源線・調光線、及び埋込ボックス口出し線の先端を13~15mm剥き加工してください。(送り配線する場合は、送り用中継ケーブルも同様に加工してください。)
- 結線を行ってください。(右図参照)
- ①器具口出し線(電源用)に電源線を接続する。
- ②器具口出し線(調光制御用)に調光線を接続する。
- ③器具口出し線(アース用)に埋込ボックス口出し線を接続する。
- ④アース線を埋込ボックスのアース端子に接続する。
- 接続部の絶縁処理(融着テーピング等)を確実に行ってください。
- 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- D種(第3種)接地工事が必要。



警告
 接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

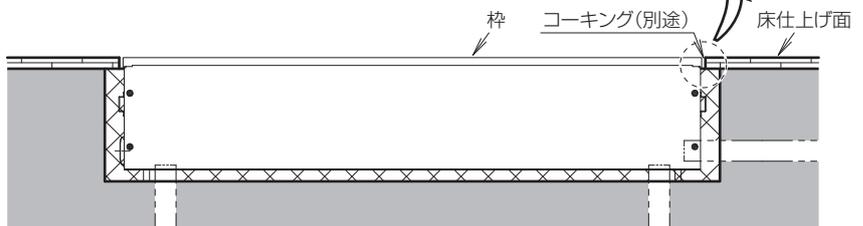
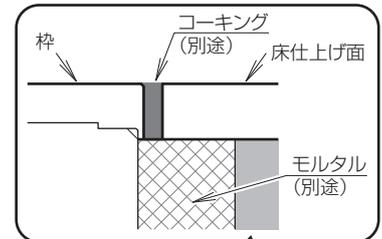
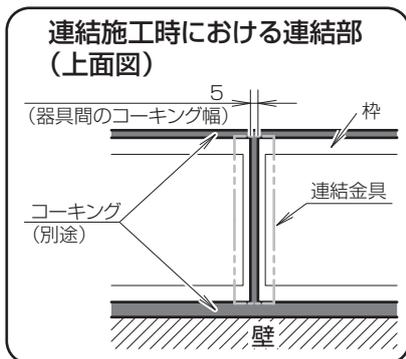
4 本体を埋込ボックスに収納する

- 3で処理した電源線・アース線・調光線を、埋込ボックス内に収納してください。
- 器具銘板が貼付されている側を壁面に向け、本体を埋込ボックスに収納してください。先に収納した電源線・アース線・調光線を本体で踏まないよう特に注意してください。不備があると、絶縁不良による火災・感電・不点の原因となります。
- 連結施工する場合、連結金具(埋込ボックス付属品)を使用してください。



5 枠と床仕上げ面との処理を行う

- 枠と床仕上げ面とのすき間をコーキングしてください。
- 不備があると、絶縁不良による火災・感電・不点の原因となります。



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

・ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しない。火災・感電・浸水の原因となります。
- ガラスは衝撃が加わると破損する恐れがあります。かけやひび割れの発生しているガラスは使用しない。
- 器具の上にダンボール類や紙、布類を被せない。不点及び器具寿命低下の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。そのままで使用すると、火災・感電の原因となります。
- アルカリ系洗剤は使用しない。強度低下による破損の原因となります。

⚠ 注意

- 定期的に清掃を行ない、器具がゴミ等で覆われないようにしてください。不点及び器具寿命低下の原因となります。
- お手入れの際には、必ず電源を切り、器具が十分に冷えてから行なってください。感電・やけどの原因となります。
- ガラスの清掃に水をかけたり、デッキブラシなどの硬いブラシを使用しないでください。
器具内への浸水や枠の表面処理部分が損傷し、器具破損の原因となります
- ガラス、枠表面に鋭利なものを押し付けしないでください。表面処理部分が損傷し、器具破損の原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年^(※1)経つと、外観に異常がなくとも内部の劣化は進行しています。
点検・交換してください。※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - ・LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯出来るからといって継続して使用が可能というわけではありません。
 - ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
 - ・3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災に至る場合があります。

■LED照明器具の光源寿命^(※2)は40,000時間です。(照明器具の寿命とは異なります)

※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

- ・LEDにはバラツキがあるため、LEDユニット内のLED、および同一品番及びシリーズ品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・周囲の気温の低下により、ガラス内面が白く曇ることがありますが、点灯することで解消されます。
- ・本器具は光源交換や内部清掃など分解することはできません。器具交換の際は現場で施工した器具周囲のコーキングを剥がす必要があります。
- ・短寿命の原因となりますので、直射日光の当たる状態で点灯しないでください。
- ・照射面によっては光ムラや光源イメージの映り込みが気になる場合があります。あらかじめご了承ください。
- ・合わせガラスや器具内に微小なチリやホコリが稀に残留する場合がありますが、品質・性能には影響ありませんのであらかじめご了承ください。

保証について

- ・保証について……この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- ・保証書について……保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。

お手入れについて

- ・器具の清掃について……汚れを落とす場合は、水または中性洗剤に浸した柔らかい布をよく絞ってふき取り、乾いたやわらかい布で仕上げてください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質、強度低下による破損の原因となります。

●定格

定格電圧	入力電流	入力電力
AC100 V	0.18 A	19 W
AC200 V	0.10 A	19 W
AC242 V	0.10 A	19 W

パナソニック株式会社 ライティング事業部 〒571-8686 大阪府門真市門真1048

お問い合わせ先 パナソニック 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441(フリーダイヤル)【受付時間】月～土 / 9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からもご利用になれます。

0120-872-460(FAX) [Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 Osaka (06)6645-8787 Open: 9:00-17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)]